



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月14日

上場会社名 株式会社カワサキ 上場取引所 東
コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川崎 久典
問合せ先責任者（役職名） 管理部部長（氏名） 池田 喜章 TEL 072-439-8011
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 2026年11月26日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	2,307	0.7	474	△8.1	473	△8.0	313	△7.3
2025年8月期	2,291	5.0	516	28.3	514	26.1	338	15.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	147.02	—	5.4	5.9	20.5
2025年8月期	157.58	—	6.0	6.4	22.5

（参考）持分法投資損益 2026年8月期 一百万円 2025年8月期 一百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	7,887	5,962	75.6	2,795.67
2025年8月期	8,058	5,755	71.4	2,698.65

（参考）自己資本 2026年8月期 5,962百万円 2025年8月期 5,755百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	540	△310	△391	497
2025年8月期	603	△105	△409	659

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	25.00	—	25.00	50.00	107	31.7	1.9
2026年8月期	—	25.00	—	25.00	50.00	106	34.0	1.8
2027年8月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		39.4	

3. 2027年8月期の業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,187	△0.4	215	△23.0	214	△23.2	138	△24.0	64.97
通 期	2,340	1.4	419	△11.4	419	△11.5	270	△13.7	126.95

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期	2,901,000株	2025年8月期	2,901,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期	768,260株	2025年8月期	768,260株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	2,132,740株	2025年8月期	2,146,073株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の長期化による節約志向の高まりや人手不足の深刻化に加え、米国の通商政策の動向や中国経済の減速懸念など、世界経済の不確実性も依然として高く、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社におきましては、服飾事業では営業活動の強化や自社ECサイトの販売拡大に取り組み、賃貸・倉庫事業では安定した稼働を維持するとともに、設備の付加価値向上等による収益性の改善に努めました。また、ホテル事業では、大阪・関西万博の開催に伴う宿泊需要等を取り込む一方、人件費や食材価格等の上昇によるコスト負担への対応に取り組みました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高2,307,749千円（前年同期比0.7%の増加）、営業利益474,188千円（前年同期比8.1%の減少）、経常利益473,378千円（前年同期比8.0%の減少）、当期純利益313,559千円（前年同期比7.3%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、営業活動の強化に努めたほか、自社ECサイトの販売拡大に取り組みました。自社ECサイトにつきましては、株主優待制度の効果もあり会員登録者数が増加し、販売が大きく伸びました。一方、最低賃金の引上げに伴う人件費の増加や原材料価格の上昇等によるコスト負担が続いたことから、販売価格の見直し等を進め、収益性の改善に努めました。また、在庫評価損が前年同期に比べ増加したことも損益に影響いたしました。

その結果、売上高は539,753千円（前年同期比0.3%の増加）、営業損失は19,417千円（前年同期は19,117千円の営業損失）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、安定したテナント稼働を維持するとともに、退去予定であったテナントの継続利用や照明のLED化など設備の付加価値向上に取り組み、収益性の改善に努めました。また、新たに賃借契約した大阪府岸和田市木材町のヤード用地につきましては、第4四半期より賃貸契約が開始され、当事業年度の収益に寄与いたしました。

その結果、売上高は1,404,870千円（前年同期比0.2%の増加）、営業利益は555,964千円（前年同期比5.6%の減少）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、宿泊部門では、大阪・関西万博の開催に伴う来訪需要等を背景に宿泊利用が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。一方、料飲部門では、最低賃金の引上げに伴う人件費の増加や食材価格の上昇による売上原価の増加が利益を圧迫しました。価格改定を実施したものの、顧客離れを抑制するため価格転嫁を限定的に行ったことから、コスト増加分を十分に吸収するには至らず、営業損失が拡大いたしました。

その結果、売上高は363,126千円（前年同期比3.5%の増加）となったものの、営業損失は62,359千円（前年同期は53,611千円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて26,244千円(2.3%)増加し、1,162,477千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が38,590千円、商品及び製品が35,012千円増加した一方、前渡金が52,158千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて197,697千円(2.9%)減少し、6,724,638千円となりました。この主な要因は、建物（純額）が220,780千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて95,040千円(12.9%)減少し、644,123千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が38,939千円、未払消費税等が47,975千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて283,335千円(18.1%)減少し、1,280,559千円となりました。この主な要因は、長期借入金が271,920千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて206,922千円(3.6%)増加し、5,962,433千円となりました。この主な要因は、当期純利益を313,559千円計上したものの、配当による減少106,637千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローを540,177千円確保し、投資活動によるキャッシュ・フローは310,482千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは391,217千円の支出となったこと等により、前事業年度末に比べ161,409千円減少し、497,941千円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益473,378千円、減価償却費305,576千円、法人税等の支払額227,047千円等により、当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは540,177千円の収入(前年同期は603,808千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による32,990千円、定期預金の預入による200,000千円の支出等により、当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは310,482千円の支出(前年同期は105,392千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による284,580千円の支出等により、当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは391,217千円支出(前年同期は409,436千円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率	68.4	71.4	75.6
時価ベースの自己資本比率	34.1	38.8	39.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.4	1.7	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	160.3	100.7	85.9

(注) 1. 時価ベースの自己資本比率は、株式時価総額／総資産により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

3. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

4. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済につきましては、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が期待される一方、物価上昇の長期化による個人消費への影響、人手不足の深刻化、原材料価格やエネルギー価格の動向に加え、米国の通商政策や海外経済の動向など、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような事業環境のもと、当社は各事業における収益力の向上と安定的な事業基盤の構築に取り組んでまいります。

服飾事業につきましては、営業活動の強化に加え、自社ECサイトの販売拡大や商品・販売施策の充実を図るとともに、在庫管理の徹底や適正な販売価格の設定等により、収益性の改善に取り組んでまいります。

賃貸・倉庫事業につきましては、既存施設の安定稼働を維持するとともに、設備の付加価値向上や施設の有効活

用を進め、安定的な収益の確保に努めてまいります。また、大阪府岸和田市木材町のヤード用地につきましては、当期より賃貸契約を開始しており、2027年8月期は通期での収益寄与を見込んでおります。さらに、新規倉庫の取得を進めることにより、賃貸資産の拡充と中長期的な収益基盤の強化を図ってまいります。

ホテル事業につきましては、大阪・関西万博終了後の宿泊需要の動向を注視しつつ、宿泊・料飲両部門における販売強化に取り組むとともに、人件費や食材価格等のコスト上昇に対応するため、業務効率化やコスト管理を徹底し、収益性の改善を進めてまいります。

以上の取り組みにより、2027年8月期の業績につきましては、売上高2,340,316千円（前年同期比1.4%の増加）、営業利益419,989千円（前年同期比11.4%の減少）、経常利益419,109千円（前年同期比11.5%の減少）、当期純利益270,744千円（前年同期比13.7%の減少）を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、引き続き株主の皆様に対する利益配分と継続的な企業発展を経営の最重要課題と認識しており、株主還元、適切なレバレッジ、成長資金の確保の最適なバランスを念頭に株主還元をしていく考えであります。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり25円とし、次期の配当金については、中間配当金25円、期末配当金25円で年間50円を予定しております。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

	(単位：千円)	
	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,350	697,941
売掛金	44,935	46,509
営業未収入金	7,927	6,306
商品及び製品	276,037	311,050
原材料及び貯蔵品	32,105	35,149
前渡金	52,158	—
前払費用	38,441	48,757
未収入金	24,652	15,508
その他	822	1,456
貸倒引当金	△199	△201
流動資産合計	1,136,232	1,162,477
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,833,240	6,843,383
減価償却累計額	△3,383,872	△3,614,795
建物（純額）	3,449,367	3,228,587
構築物	459,770	470,705
減価償却累計額	△215,945	△248,993
構築物（純額）	243,824	221,711
機械及び装置	403,468	403,468
減価償却累計額	△240,591	△260,805
機械及び装置（純額）	162,876	142,662
車両運搬具	33,612	42,495
減価償却累計額	△32,861	△35,507
車両運搬具（純額）	750	6,988
工具、器具及び備品	207,273	207,717
減価償却累計額	△169,996	△184,458
工具、器具及び備品（純額）	37,277	23,259
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	—	2,585
有形固定資産合計	6,465,463	6,197,161
無形固定資産		
ソフトウェア	9,073	4,850
その他	5,812	5,751
無形固定資産合計	14,885	10,601
投資その他の資産		
出資金	6,531	6,531
長期前払費用	2,603	—
敷金及び保証金	432,852	510,344
投資その他の資産合計	441,987	516,875
固定資産合計	6,922,335	6,724,638
資産合計	8,058,568	7,887,116

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,503	18,287
1年内返済予定の長期借入金	284,580	271,920
未払金	54,091	49,775
未払費用	36,662	36,757
未払法人税等	126,161	87,222
未払消費税等	78,757	30,781
前受金	138,725	143,267
預り金	6,639	3,013
賞与引当金	1,277	1,480
その他	1,764	1,616
流動負債合計	739,163	644,123
固定負債		
長期借入金	740,720	468,800
役員退職慰労引当金	12,716	15,716
受入保証金	259,676	269,276
資産除去債務	450,662	454,936
繰延税金負債	100,119	71,830
固定負債合計	1,563,894	1,280,559
負債合計	2,303,058	1,924,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金		
資本準備金	465,937	465,937
その他資本剰余金	560,000	560,000
資本剰余金合計	1,025,937	1,025,937
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,450,000	2,450,000
固定資産圧縮積立金	459,953	437,884
繰越利益剰余金	2,289,056	2,518,048
利益剰余金合計	5,224,009	5,430,932
自己株式	△498,736	△498,736
株主資本合計	5,755,510	5,962,433
純資産合計	5,755,510	5,962,433
負債純資産合計	8,058,568	7,887,116

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高		
製品売上高	537,913	539,753
賃貸事業収入	1,402,591	1,404,870
ホテル売上高	350,746	363,126
売上高合計	2,291,251	2,307,749
売上原価		
製品売上原価	314,178	317,450
賃貸事業原価	684,588	724,453
ホテル売上原価	231,578	235,800
売上原価合計	1,230,345	1,277,704
売上総利益	1,060,905	1,030,045
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	20,627	20,501
役員報酬	34,813	35,039
給料及び賞与	288,597	297,555
貸倒引当金繰入額	41	23
賞与引当金繰入額	4,974	5,707
退職給付費用	4,465	4,599
役員退職慰労引当金繰入額	3,000	3,000
法定福利費	41,218	41,732
賃借料	17,321	18,585
減価償却費	11,633	11,683
その他	118,091	117,429
販売費及び一般管理費合計	544,784	555,857
営業利益	516,121	474,188
営業外収益		
受取利息	203	991
為替差益	258	155
受取手数料	1,324	546
受取家賃	1,200	1,200
その他	1,773	2,582
営業外収益合計	4,760	5,476
営業外費用		
支払利息	5,995	6,280
雑損失	123	5
営業外費用合計	6,118	6,285
経常利益	514,762	473,378
税引前当期純利益	514,762	473,378
法人税、住民税及び事業税	201,115	188,107
法人税等調整額	△24,538	△28,288
法人税等合計	176,576	159,818
当期純利益	338,186	313,559

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
						別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	487,457	2,037,249	4,999,707
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩							△27,503	27,503	—
剰余金の配当								△113,883	△113,883
当期純利益								338,186	338,186
自己株式の取得									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△27,503	251,806	224,302
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	459,953	2,289,056	5,224,009

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,216	5,554,727	5,554,727
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩		—	—
剰余金の配当		△113,883	△113,883
当期純利益		338,186	338,186
自己株式の取得	△23,520	△23,520	△23,520
当期変動額合計	△23,520	200,782	200,782
当期末残高	△498,736	5,755,510	5,755,510

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	固定資産圧 縮積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	459,953	2,289,056	5,224,009
当期変動額									
固定資産圧縮積立金 の取崩							△22,069	22,069	—
剰余金の配当								△106,637	△106,637
当期純利益								313,559	313,559
自己株式の取得									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△22,069	228,992	206,922
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	437,884	2,518,048	5,430,932

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	
当期首残高	△498,736	5,755,510	5,755,510
当期変動額			
固定資産圧縮積立金 の取崩		—	—
剰余金の配当		△106,637	△106,637
当期純利益		313,559	313,559
自己株式の取得		—	—
当期変動額合計	—	206,922	206,922
当期末残高	△498,736	5,962,433	5,962,433

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	514,762	473,378
減価償却費	304,974	305,576
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	93	203
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,000	3,000
受取利息及び受取配当金	△203	△991
支払利息	5,995	6,280
為替差損益 (△は益)	△26	△112
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,236	47
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,167	△38,056
仕入債務の増減額 (△は減少)	△437	7,783
その他	△11,356	15,410
小計	787,440	772,523
利息及び配当金の受取額	203	991
利息の支払額	△5,988	△6,289
法人税等の支払額	△177,847	△227,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,808	540,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△105,391	△32,990
差入保証金の差入による支出	-	△77,492
その他	△1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,392	△310,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△271,920	△284,580
配当金の支払額	△113,883	△106,637
自己株式の取得による支出	△23,633	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△409,436	△391,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,006	△161,409
現金及び現金同等物の期首残高	570,344	659,350
現金及び現金同等物の期末残高	659,350	497,941

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社は事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」、「ホテル事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業、太陽光発電事業

ホテル事業……………ホテルレイクアルスターでの宿泊、宴会、レストラン営業

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	537,913	1,402,591	350,746	2,291,251	—	2,291,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	537,913	1,402,591	350,746	2,291,251	—	2,291,251
セグメント利益又は損失(△)	△19,117	588,850	△53,611	516,121	—	516,121
セグメント資産	524,308	6,307,289	141,668	7,036,265	1,022,302	8,058,568
その他の項目						
減価償却費	6,178	273,269	19,455	298,903	6,070	304,974
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,281	92,356	17,341	110,979	988	111,967

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2) 減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	539,753	1,404,870	363,126	2,307,749	—	2,307,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	539,753	1,404,870	363,126	2,307,749	—	2,307,749
セグメント利益又は損失(△)	△19,417	555,964	△62,359	474,188	—	474,188
セグメント資産	504,640	6,206,634	131,028	6,842,303	1,044,812	7,887,116
その他の項目						
減価償却費	6,474	272,727	20,596	299,798	5,778	305,576
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	—	20,084	12,906	32,990	—	32,990

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
司企業株式会社	373,033	賃貸・倉庫事業

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
司企業株式会社	373,033	賃貸・倉庫事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	2,698.65円	2,795.67円
1株当たり当期純利益金額	157.58円	147.02円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	338,186	313,559
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	338,186	313,559
普通株式の期中平均株式数(株)	2,146,073	2,132,740

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,755,510	5,962,433
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,755,510	5,962,433
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,132,740	2,132,740

(重要な後発事象)

該当事項はありません。